

決算説明会補足資料

- 2023年度上期までのレビュー
- 2023年度下期計画



2023年10月 株式会社富士通ゼネラル

- 2021年度、コロナ禍の巣ごもり需要拡大の一方、部材の需給逼迫、物流の混乱が発生。また当社では、タイ第2工場立ち上がり直後の準備不足もあり、大量の受注に対応できず。
- 2022年度（特に上期は）サプライチェーンの混乱でバックオーダーが積み上がり、北米、中東向けには高水準の出荷が継続。一方、3Q頃より、インフレ加速・高金利政策・不動産市況悪化で、現地消化は後退、流通在庫は拡大し、新規購入は減速。
- 2023年度、特に中東の落ち込みは織り込み済であったが、利益率の高い北米は想定以上の大きな計画未達となった。
- コストダウン・海上運賃下落・為替相場の好転があったものの、海外市場での減収影響が大きく、営業利益も悪化となった。

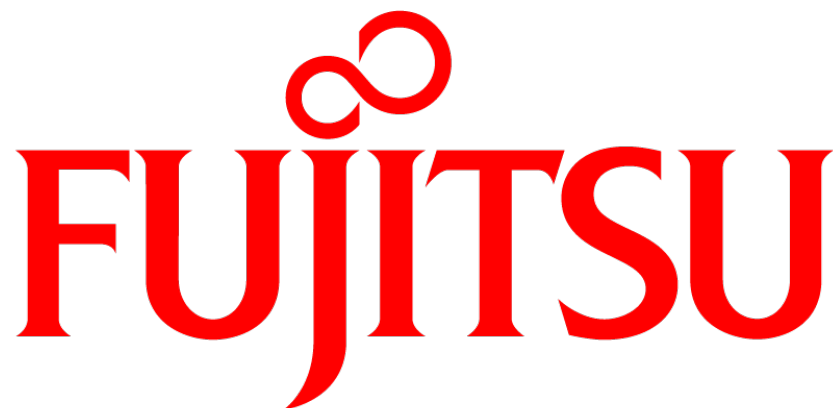
空調機（国内）

前年度並みの売上計画。前年度下期には上海ロックダウンの影響が一部残っていたこと、住宅設備向けルートが順調に拡大していることから、計画達成は可能。

空調機（海外）

- ① 前年同期比▲2%の売上計画(為替やTCFG売上を除くと▲7%)。各地域とも流通在庫、販売状況を反映した数値としている。
- ② 欧州：ATWビジネス減速の影響を織り込み済。
- ③ アジア：前年同期比40%増と高い伸長率だが、TCFGの連結化効果を除くと前年同期比11%伸長。インドも現地生産によるコスト強化、新製品投入で販売増の計画。
- ④ 課題は、流通在庫が高水準となっている北米市場での計画達成。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

The logo consists of a red infinity symbol above the word "FUJITSU" in a bold, red, serif font.

富士通ゼネラル

－ 共に未来を生きる －